



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整えながら、安心して過ごす。 伝承遊びを楽しんだり、戸外で体を動かしたりして冬の遊びを楽しむ。 楽しい雰囲気の中で身の回りのことを自分でしようとする。 	行事	避難訓練	長時間保育	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の流行る時期なので、体調に変化が見られたときは家庭と連絡をとり、早めの対応をしていく。 室内外の温度差を伝え、暖房が入る室内では厚着になりすぎないように知らせていく。 	自己評価 鼻水や咳が続く児が多く、高熱で欠席する児も数名いた。家庭と早めに連絡をとり、引き続き感染症を広げないようにしていく。公園で凧揚げをしたり、おかめの顔のパーツを自分で貼って福笑いをしたりなど伝承遊びの経験と楽しさを味わうことができた。戸外遊びの準備や排泄時の着脱など、生活を通して身支度を自分で行う意欲が高まっている。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> 長期休み後の生活リズムが整うよう援助していく。 楽しい雰囲気の中でトイレに向かい、保育者の援助で排泄しようとする。 好きな遊びをしながら、友だちを意識して関わろうとする。 凧や福笑いなどの伝承遊びやさまざまな道具を使って遊ぶ。 簡単なごっこ遊びを通して保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しむ 保育者や友だちと歌ったり踊ったりして楽しむ。 友だちや保育者と言葉のやりとりをしながら、楽しく食事をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 戸外で元気に体を動かす活動を設定し、食欲や睡眠に繋げていくようにする。 尿意を感じたときや目覚めた順にトイレに向かうよう働きかける。 玩具や絵本など子ども自身が取り出せるよう収納場所を整理しておく。 簡単な伝承遊びの教材を用意したり、道具の破損など確認をする。 ごっこ遊びを楽しめるコーナーをつくる。 子どもの興味のある歌のCDやパネルシアターなどを用意する。 生活の中で食材の絵本や玩具などを使って話題にしていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの様子を見ながら、甘えたい気持ちなどを受け止め援助していく。 タイミングが合い排泄したときは、大いに褒めて意欲や自信に繋げる。 遊びの様子を見守りながら時には仲立ちをして友だち関係が深まるよう援助していく。 子どもとイメージを共有しながら、遊びの楽しさを味わえるよう援助していく。 興奮してはしゃぐ児から目を離さず衝突など怪我のないよう職員で連携していく。 さまざまな食材に興味を持ち、味見したり完食したりした喜びに共感して意欲につなげる。 		生活リズムの崩れや体調の優れない児には個別に対応し、無理なく過ごすことができた。活発に遊んだり友達のを意識したりして、全体的に食欲が増している。トイレに座ることが習慣付き、排尿する児が増えているので、今後も楽しい雰囲気が続けていく。玩具や場所の取り合いは見られるが、保育者の仲立ちがなくても以前より自発的に言葉のやり取りをして仲良く遊ぶ姿が多く、友だち関係の深まりを感じる。ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びも楽しめるようになったので、寒さに負けずに引き続き戸外で元気に遊んでいく。